



# 東中だより

暖かな春の日差しに、校内の梅の花も一斉に咲き始め、桜のつぼみも膨らみ始めました。この様なうらかな春の吉日、小諸市立小諸東中学校の入学式が行われ、多くの御来賓の皆様のご臨席を賜る中で無事、233名の新入生を迎えることができました。入学式後の始業式では、校長先生から次のように1学期大切にしたいことについてのお話がありました。

## 伝統と新しい風

新しく233名の新入生を迎え、全校生徒648名で、そして、先ほど紹介いたしました、新しい先生方をお迎えして、新年度を、そして1学期をスタートします。私は4月2日に小諸東中学校にやってきました。そして、校舎内を歩いていると、ごみひとつなく、床が輝き、清掃がしっかりと行われていて、きれいな学校だなあと思いました。また、桜並木も美しく、もうすぐ花が咲き素晴らしい風景になるのだろうと想像しました。先生方からお話を聞くと、生徒の皆さんは、無言清掃を大切に活動しているとのことでした。そんな話を聞いていると、まだ会っていない東中の皆さんが、一生懸命



<早川 和仁 校長先生>

命床を磨いている姿や、学校周辺の整備をする姿が、鮮明に浮かんできたのです。皆さんにとっては当たり前かもしれませんが、一生懸命に清掃に打ち込める、きちんとした環境を守ることができる、ということは、学校が整っている、そして皆さんの心が整っている一つの証明になることです。素晴らしいことなのです。東中の宝として、これからも大切にしていって欲しいです。新入生のみなさん、先輩たちが頑張ってくれていて、東中学校は、とても落ちついた良い学校になっているそうです。安心して中学校生活をスタートさせましょう。また、気持ちの良いあいさつをしてくれる人がたくさんいるとも聞きました。先生は、このような、東中の良いところをたくさん探す学期にしていきたいと思っています。

新しい年のスタートに皆さんに意識してほしいことをひとつお話します。それは、学校の気風……伝統や雰囲気、そういう「学校の風」を生徒が作っていくということです。そして特に三年生が「学校の風」を作っていく、ということです。「学校の気風」伝統や雰囲気というものは、先生たちから、こうしろあしろと行って作られていくものではないのです。こんな日記がありました。新3年の生徒さんの日記です。

「今日の清掃は、年度末ということで5分延長にして、使ってきた校舎に感謝しようということでした。私たちは理科室を担当しています。少し早めに終わったのですが、その後しゃべることなく、皆がしっかりと気づき清掃ができました。来年は全校の(後輩の)お手本となれるように頑張りたいです。」校舎に感謝したり、こんな先輩になりたいと思う3年生の姿。いいですね。それからもう一つ。これは、昨年1年の生徒さんの日記です。「今日は、そうじの時に先輩が来て掃除のやり方を教えてもらいました。その中でも一番の驚いたのは、ものをどかして床のはじまでぞうきんをかけることでした。今度からはしっかり物をどかしてすみずみまでぞうきんがけをしようと思いました。先輩が一生懸命掃除のやり方などを教えてくれているので、これを自分たちが先輩になったときに後輩にできるようにしたいです。」先輩が掃除のやり方を教えに来てくれた。自分たちも、先輩になったら後輩に教えられるようにしたい。これもいいですね。みなさんの生活の中にも、下級生に「すごいなあと思わせる」上級生の姿。そして、「私もあんな上級生になりたい」と思う後輩たち。あるのではないのでしょうか？この日記を見た時に私は思いました。誰かにこうなさいといって、できるようになるのではなくて、上級生の姿を見て、下級生が、「ああいうふうになりたい」と思うから、それが引き継がれて行くんだ。そしてこれは、立派な上級生の方だけではできないのです。上級生の姿をまっすぐに受けとめる下級生の純粋な感性が必要なのです。いよいよ、30年度の、そして、1学期のスタートです。みなさん、東中の伝統と気風を新入生や下級生に姿で示せる上級生として、そして、それを受けとめる下級生として、それぞれの自覚をしっかりと持って、30年度をスタートしましょう。そして東中にさわやかな「風」を吹かせましょう。新しいスタート、みんなで気持ちを合わせていきましょう。

## 1 学期始業式生徒代表の言葉

### 2 年 生 の 決 意

入学して、1年が経ち、2年生になって多くの課題が見えてきました。その中で4つのことについて考えました。一つ目は勉強についてです。一年生最後のテストでは、テスト勉強の時間が少なく、思うように点が伸びなかった教科もありました。

一学期になり、部活動の時間が長くなり、家に帰るのも遅くなるので、時間を有効に使い、日々の生活を送っていききたいと思います。また、テスト勉強も余裕をもって行い、出来るだけ早いスタートを切ることを心がけたいです。二つ目は部活動です。ぼくは陸上部に所属しています。毎日ただ単に練習するのではなく、一つ一つの動きを考えて、苦手な所を直していき、効果的な練習をしていきたいです。これからの時期、大会や記録会が沢山あります。5月の東信大会をはじめ、自己ベストが更新できるように日々の練習から頑張っていきたいです。三つ目はクラスの事です。ここでは言い切れない位沢山の良い事、悪い事が一年生の時に起こりました。悪い事については、何とか解決することができ、前教科担任の先生からも「良くなってきたね」と言われることがあり、今年も前進したいところですが、ルーム長として、ぼくもまだまだな所が沢山あるので、クラスのみならず協力し合って更によりよりクラスにしていきたいです。そのためには、一つ一つの行動すべてが大事だと思います。基本的なことですが、時間を守ること、人の話を聞くこと、みんなが居心地のよいクラスだと感じるようにすることをぼくが手本を見せたり、呼びかけ、注意していきたいです。四つ目は学年の事です。新しく一年生が入り、初めて先輩と呼ばれる立場となります。一年生から見ると、ぼくたち2年生はどのように見られているかとても気になります。去年の先輩方の姿は、生徒会、部活動などでやるべきことをしっかりやっていて、ぼくにとって手本になる存在でした。だからぼくたち2年生も3年生を支え、1年生にとって目標となれる先輩になりたいです。今日からまた1年がスタートしました。中学校は本当に忙しいです。1日1日を大切に、時間を大切に、友達を、大切に、前へ進んでいきたいです。

### 2 年 生 代 表



### 中学校生活最後の1年を迎えるにあたって

今年の3月、先輩方が卒業しました。いよいよ私たちが東中の最上級生となり、学校生活で1、2年生を引っ張る立場となりました。そして、「受験生」というプレッシャーの中で残りの一年間を過ごすという新たな立場も3年生としての変化です。ですが、今まで実行しようと思っていてもなかなかできない弱い自分がいました。このままの生活をしていたら、新たな立場となった1年があつという間に過ぎてしまいます。そこで私は、3つ、目標を立てました。まず一つ目は、個人の目標です。それは弱い自分に打ち勝つ受験を乗り越えることです。夏までに1、2年の復習をできるかが受験に影響すると思います。先を見通して今まで苦手になっていた教科に早めに取り掛かろうと思います。二つ目はクラスでの目標です。クラスのみならず一緒に過ごすのも今年で最後です。白梅祭で悔しい思いをしたのも、今までの学校生活で反省したことも、そして一緒に喜び合った経験も忘れず、全てを今年に生かしてこの1年を悔いのないものにしたいです。最後三つ目は学年での目標です。私はこれまでの2年間、周りの人たちから沢山のことを教えてもらいました。ですが、これからはまわりに頼っていただけません。3年生には「学校を引っ張っていく」という大きな役割があります。だからもう周りに任せず自分ではなく、3年生全員の一人一人が3年としての自覚をもつことが必要です。3年生の皆さん自ら動いて全員で東中をつくっていきましょう。残りの1年、勉強も学校生活も気を抜かず一日一日を大切に最後の中学校生活を有意義なものにしたいです。

### 3 年 生 代 表



## お知らせ と お 願 い

今年度も例年と同様に落ち着いた厳粛な雰囲気の中、入学式・始業式が行われました。今年度の1年生は、7クラス編制となりました。全校では、1クラス減の22学級、648名です。

今月は、家庭訪問・修学旅行と大きな行事が続き、月末には第1回授業参観日・PTA総会が予定されています。

今年度も全職員が協力して東中生徒の健やかな成長のため、全力を尽くしたいと考えております。

保護者の皆様には昨年度に引き続き、温かなご支援とご協力をよろしくお願い致します。

小諸市立小諸東中学校

\* ご意見、ご要望、お問い合わせなどは、下記までお寄せ下さい。

(教頭：矢島 守・岡村 聡)

TEL 22-0595

Fax 23-6142